

スプリンクラー設備試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施者 住 所 氏 名 印											
用 途		() 項			構 造						
延べ面積		m ²			階 数		地上 階 地階 階				
加圧送水装置の種別				方式							
流水検知装置の方式				湿式		乾式		予作動式			
スプリンクラーヘッド				種 別							
				設置個数							
試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結果			
外	水 源 (水道の用に供する水管 を水源とするものを除く。)			水源の種類・構造		_____					
				水 量		m ³ (縦 m 横 m 有効深さ m)					
				吸水障害防止措置		有 ・ 無					
				給 水 装 置		_____					
				耐 震 措 置		有 ・ 無					
観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポン プ を 用 い る も の	設 置 場 所								
			ポ ン プ の 仕 様		製造者名		定格吐出量			ℓ/min	
							定格全揚程			m	
					型式		製造番号				
			電 動 機 の 仕 様		製造者名		種別			型電動機	
							定格電圧			V	
					型式		定格電流			A	
			内 燃 機 関 の 仕 様		製造番号		出力			kVA	
					製造者名		燃料種別				
					型式		定格回転数			r/min	
					製造番号						

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結 果	
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ンプ を 用 い る も の 起 動 装 置	ポンプ・電動機・ 内 燃 機 関	設 置 状 況	―――		
				接 地 工 事	種接地		
				配 線	―――		
				潤 滑 油	―――		
				燃 料 タ ン ク	―――		
				蓄 電 池	―――		
			水温上昇防止 のための逃し 装 置	配 管 ・ バ ル ブ 類	―――		
				オ リ フ ィ ス 等	流過口径 mm		
				ブースターポンプ に 設 け る 逃 し 配 管 ・ 逃 し 装 置	逃し配管の高さ m		
					逃し装置の設定圧力 MPa		
			性能試験装置の配管・バルブ類		―――		
			呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製		
				水 量	ℓ		
				溢 水 用 排 水 管	管の呼び A		
				呼 水 管	管の呼び A		
				補 給 水 管	管の呼び A		
				減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極		
			制 御 装 置	設 置 場 所			
				制 御 盤	―――		
				予 備 品 等	―――		
				接 地 工 事	種接地		
			圧力計・連成計	設 置 位 置	―――		
				性 能	級		
			起 動 装 置	直 接 操 作 部	―――		
				起動用水圧 開閉装置	起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器	
					タ ン ク の 容 量	ℓ	
					配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び A	
				自 動 式 起動装置	閉鎖型スプリンク ラーヘッド	―――	
					自動火災感知装置	―――	
				手 動 式 起動装置	設 置 場 所 等	―――	
					設 置 高 さ	床面からの高さ m	
					構 造	―――	
					表 示	―――	
			流 水 検 知 装 置		―――		
補 助 水 槽							

試験項目				種別・容量等の内容								結果	
外観	加圧送水装置	高架水槽を用いるもの	構造										
			内容積・落差		m ³ m								
			配管・バルブ類		――								
			水位計		――								
		圧力水槽を用いるもの	種類・構造		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器								
			内容積・有効圧力		m ³ MPa								
			自動加圧装置		有 ・ 無								
			配管・バルブ類		――								
			水位計・圧力計		――								
		耐震措置		有 ・ 無									
	配管・バルブ類	設置状況											
		機器	配管		――								
			バルブ類		――								
			吸水管		――								
			フート弁		――								
防食措置		有 ・ 無											
排水措置		有 ・ 無											
耐震措置		有 ・ 無											
電源	常用電源		V										
	非常電源の種類		専用受電・自家発電・蓄電池										
試験	スプリンクラーヘッド	放水区域の数・設定状況（開放型スプリンクラーヘッドに限る。）	階										―
			放水区域の数										―
			設定状況										
	設置方法	配置等		――									
		配管への取付		――									
		取付方向		――									
	機器	閉鎖型スプリンクラーヘッド	表示温度										
構造・性能			――										
開放型スプリンクラーヘッド		――											

④

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容								結果				
外 観 試 験	制 御 弁		設 置 場 所 等		_____											
			設 置 高 さ		床面からの高さ								m			
			構 造		_____											
			表 示		_____											
	流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置		設 置 場 所 等		_____											
			種 別 ・ 口 径		_____											
			減 圧 警 報		_____											
			構 造 ・ 性 能		_____											
	一 斉 開 放 弁		起動操作部	設置場所等	_____											
				設置高さ	床面からの高さ								m			
			作 動 試 験 装 置		_____											
			構 造 ・ 性 能		_____											
	末 端 試 験 弁		設 置 場 所		_____											
			構 造		_____											
			表 示		_____											
	自 動 警 報 装 置		音 響 警 報 装 置		_____											
			火 災 表 示 装 置		_____											
	送 水 口		設置場所等		設 置 場 所 等		_____									
					設 置 高 さ		地盤面からの高さ								m	
					表 示		_____									
機 器			結 合 金 具		_____											
			逆 止 弁 等		_____											
減 圧 措 置				減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁												
排水設備（放水型ヘッドを用いるスプリンクラー設備に限る。）				_____												
補 助 散 水 栓 等	散 水 栓		散水栓の 設置個数	階									—			
				設置個数									—			
			設 置 場 所		_____											
			周囲の状況・操作性		_____											
			開 閉 弁 の 設 置 高 さ		床面からの高さ								m			
			ホ ー ス の 接 続 等		_____											

試 験 項 目				種 別・容 量 等 の 内 容		結 果					
外 観 試 験	補 助 散 水 栓 等	散 水 栓		消 火 栓 開 閉 弁		————					
		散 水 栓 箱		周 囲 の 状 況		————					
				設 置 状 況		————					
				材 質 等		————					
				赤 色 灯		————					
				表 示		————					
		ホース・ノズル		ホース（結合金具を含む。）		————					
				ホ ー ス 接 続 口		————					
				ノ ズ ル		————					
				結 合 状 態		————					
				収 納 状 態		ホースリール式・折畳等収納式					
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 試 験	ポ ン プ を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験		減水警報装置作動状況		底面からの高さ	cm			
					自動給水装置作動状況		————				
					呼水槽からの水の補給状況		————				
			制 御 装 置 試 験		起動・停止操作時の状況等		————				
					電源切替時の運転状況		————				
			起 動 装 置 試 験		ポンプの起動状況等		————				
					起動表示の点灯状況						
					起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力 作動圧力	MPa MPa			
			ポンプ試験		運 転 状 況		————				
					※締切り運転 時の 状 況		締切揚程			m	
							電 圧			V	
							電 流			A	
					※定格負荷運 転時の状況		定格揚程			m	
							電 圧			V	
							電 流			A	
			※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験		逃し水量			ℓ/min			
			※ ポ ン プ 性 能 試 験 装 置 試 験		表示値の差			ℓ/min			
			高架水槽を 用いるもの		作動試験		給水装置作動状況		————		
					静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa				

⑥

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成 9 年消防庁告示第 8 号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。